



2020年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月8日

上場会社名 東亜合成株式会社
 コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志
 問合せ先責任者 (役職名) グループ管理本部IR広報部長 (氏名) 根本 洋
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3597-7215

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	34,251	2.8	3,409	15.7	3,226	27.1	1,726	42.9
2019年12月期第1四半期	35,248	3.6	4,045	0.9	4,427	9.3	3,025	1.2

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 2,571百万円 (%) 2019年12月期第1四半期 3,189百万円 (451.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	13.12	
2019年12月期第1四半期	22.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	238,385	193,913	79.4
2019年12月期	247,211	198,579	78.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 189,174百万円 2019年12月期 193,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		15.00		15.00	30.00
2020年12月期					
2020年12月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	69,000	4.2	6,200	15.1	7,000	13.1	4,900	11.5	37.27
通期	141,000	2.7	13,000	5.7	14,200	6.8	9,700	6.6	74.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	131,996,299 株	2019年12月期	131,996,299 株
期末自己株式数	2020年12月期1Q	372,105 株	2019年12月期	371,454 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	131,624,473 株	2019年12月期1Q	131,629,324 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(ア) 当第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）の業績は、売上高は342億5千1百万円（前年同期比2.8%減収）、営業利益は34億9百万円（前年同期比15.7%減益）、経常利益は32億2千6百万円（前年同期比27.1%減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億2千6百万円（前年同期比42.9%減益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

① 基幹化学品事業

電解製品は、カセイソーダをはじめ全般的に販売が軟調に推移したことなどから減収となりました。アクリルモノマー製品は、アクリル酸エステルの販売数量減少などから減収となりました。工業用ガスは、ガス関連機器の販売が増加したことなどから増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は153億9千万円（前年同期比2.7%減収）となりました。

営業利益は、次亜塩素酸ソーダの価格は正や工業用ガスの増販は増収要因となりましたが、カセイソーダやアクリルモノマー製品の収益悪化が利益を圧迫し、14億3千7百万円（前年同期比12.6%減益）となりました。

② ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、タイ子会社からの製品販売が順調に伸長したことに加えリチウムイオン二次電池向け製品の販売が堅調に推移したことなどから増収となりました。アクリルオリゴマーは、海外での販売数量が減少したことなどから減収となりました。高分子凝集剤は、輸出が減少し減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は70億4千1百万円（前年同期比1.5%減収）となりました。

営業利益は、アクリルポリマーの増販や原料価格の値下がりなどが寄与し、9億1千9百万円（前年同期比3.1%増益）となりました。

③ 接着材料事業

瞬間接着剤は、国内販売は堅調でしたが新型コロナウイルス感染症拡大の影響から海外での工業用途の需要が低迷したことおよび海外子会社の操業が一部制限されたことなどから減収となりました。機能性接着剤は、自動車関連用途向け製品の需要が低調に推移したことに加え一部不採算製品の販売を縮小したことなどから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は24億5千9百万円（前年同期比8.7%減収）となりました。

営業利益は、製品販売の減少が利益を圧迫したほか、研究開発費などの固定費が増加したことなどから、1億5千5百万円（前年同期比67.9%減益）となりました。

④ 高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から半導体向け需要は堅調に推移しましたがその他向けの需要が低迷し若干の減収となりました。無機機能材料は、機能性衣料向けの消臭剤や電子部品向けイオン捕捉材が順調で増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は21億9千1百万円（前年同期比1.3%増収）となりました。

営業利益は、液化塩化水素をはじめとした製品の積極的な設備投資に伴う減価償却費の増加などが利益を圧迫し、6億1千6百万円（前年同期比10.8%減益）となりました。

⑤ 樹脂加工製品事業

管工機材製品は、国内景気の停滞から販売数量が減少し減収となりました。建材・土木製品は、受注物件の減少などから減収となりました。ライフサポート製品は、販売競争の激化などから減収となりました。エラストマーコンパウンドは、一部製品の需要が回復したことなどから増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は62億1千3百万円（前年同期比3.9%減収）となりました。

営業利益は、エラストマーコンパウンドを除く製品の減販や設備投資に伴う固定費負担の増加などが利益を圧迫し、2億4千1百万円（前年同期比17.6%減益）となりました。

⑥ その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は9億5千4百万円（前年同期比0.6%減収）、営業利益は3千8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

資産合計は、「投資有価証券」および「受取手形及び売掛金」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ88億2千6百万円、3.6%減少し、2,383億8千5百万円となりました。

負債合計は、繰延税金負債の減少により固定負債の「その他」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ41億6千1百万円、8.6%減少し、444億7千1百万円となりました。

純資産合計は、「その他有価証券評価差額金」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ46億6千5百万円、2.3%減少し、1,939億1千3百万円となり、自己資本比率は79.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において、当社グループが判断したものです。

当第1四半期連結累計期間は、中国で発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界中に拡大し、医療システムの崩壊やグローバルな移動制限が実施されるなど未曾有の事態を引き起こし、経済活動は大幅に停滞しました。また、原油価格は、需要の大幅な減退や産油国間の調整不調から3月に入り急落し、その他の資源価格も全般的に値下がりしました。わが国においても、首都圏など大都市圏を中心に感染者数が増加するなど社会生活全般にわたり大きな混乱が生じ、景気は急速に悪化しました。

このような中、当社グループは、生産工場における感染防止対策を徹底することにより安全、安定操業を維持し、供給の確保に努めました。また、グループ会社の全役職員に対しマスクを配布するとともに、時差出勤や在宅勤務を推進するなど、安心、安全かつ健康に働ける職場環境を整備し、事業活動の継続に注力しました。

新型コロナウイルス感染症の収束にはさらなる時間が必要とされ、各国政府の経済対策や景気刺激策が予定されているものの、景気後退は今後本格化し、極めて厳しい状況が続くと予想されます。当社グループは、2020年から2022年を対象年とする中期経営計画「Stage up for the Future」を始動し、新事業創出と研究開発の機能をより一層強化することにより、高付加価値製品のさらなる拡大を目指しています。先行きの不透明感が強まる中、現下の経済情勢を凝視しつつ製造・販売活動の管理を適切に行うとともに、資本効率の改善など中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

なお、現時点において、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に見積もることは困難であるため、2月13日に発表しました2020年通期の連結業績予想は据え置き、業績予想の変更が必要と判断された時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,989	31,658
受取手形及び売掛金	42,534	40,056
有価証券	44,000	44,000
たな卸資産	18,161	18,594
その他	1,311	1,332
貸倒引当金	△36	△37
流動資産合計	138,959	135,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,493	22,431
機械装置及び運搬具（純額）	25,857	25,334
土地	17,632	17,586
その他（純額）	8,392	9,970
有形固定資産合計	74,376	75,322
無形固定資産		
	727	762
投資その他の資産		
投資有価証券	28,711	22,257
退職給付に係る資産	2,045	2,113
その他	2,406	2,339
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	33,148	26,696
固定資産合計	108,252	102,781
資産合計	247,211	238,385

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,413	13,846
短期借入金	2,503	2,503
未払法人税等	2,030	741
引当金	16	580
その他	13,948	12,883
流動負債合計	32,911	30,554
固定負債		
長期借入金	9,031	9,031
退職給付に係る負債	161	149
その他	6,528	4,737
固定負債合計	15,721	13,917
負債合計	48,632	44,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,411	16,411
利益剰余金	146,252	146,005
自己株式	△302	△303
株主資本合計	183,247	182,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,974	4,768
為替換算調整勘定	1,581	1,436
退職給付に係る調整累計額	△40	△30
その他の包括利益累計額合計	10,516	6,174
非支配株主持分	4,815	4,739
純資産合計	198,579	193,913
負債純資産合計	247,211	238,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	35,248	34,251
売上原価	24,963	24,399
売上総利益	10,285	9,851
販売費及び一般管理費	6,239	6,441
営業利益	4,045	3,409
営業外収益		
受取利息	8	22
受取配当金	158	67
持分法による投資利益	54	87
固定資産賃貸料	64	81
為替差益	69	—
その他	113	64
営業外収益合計	467	323
営業外費用		
支払利息	25	23
為替差損	—	425
環境整備費	34	35
遊休設備費	14	9
その他	10	14
営業外費用合計	85	507
経常利益	4,427	3,226
特別利益		
固定資産売却益	3	—
補助金収入	1	—
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
固定資産処分損	4	138
投資有価証券評価損	—	407
特別損失合計	4	546
税金等調整前四半期純利益	4,428	2,679
法人税等	1,348	896
四半期純利益	3,079	1,783
非支配株主に帰属する四半期純利益	53	56
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,025	1,726

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	3,079	1,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	△4,212
為替換算調整勘定	60	△152
退職給付に係る調整額	11	10
その他の包括利益合計	110	△4,354
四半期包括利益	3,189	△2,571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,126	△2,614
非支配株主に係る四半期包括利益	63	42

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高性能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	15,817	7,147	2,692	2,163	6,468	34,288	960	35,248	—	35,248
セグメント間の内部 売上高または振替高	1,062	300	14	6	7	1,391	591	1,983	△1,983	—
計	16,880	7,447	2,706	2,169	6,476	35,680	1,552	37,232	△1,983	35,248
セグメント利益	1,643	891	486	690	293	4,005	39	4,044	1	4,045

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高性能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	15,390	7,041	2,459	2,191	6,213	33,296	954	34,251	—	34,251
セグメント間の内部 売上高または振替高	848	293	20	12	2	1,178	372	1,551	△1,551	—
計	16,238	7,334	2,480	2,204	6,216	34,475	1,327	35,802	△1,551	34,251
セグメント利益	1,437	919	155	616	241	3,369	38	3,408	1	3,409

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。